



澄みとほる 冬の日ざしの 光あまねく

われのごころも ひかれとぞさす

牧水

## 秋晴れにさわやかな汗!

十一月六日(金)、総合グラウンドで第二十四回東臼杵郡身体障害者スポーツ大会が開催されました。大会には東臼杵郡十ヶ町村から約三百名の選手が集まり、本町からも約四十名の選手、応援者が参加しました。開会式では、八重原の福畑昇さんが力強く選手宣誓を行いました。また、この日は少し肌寒い感じでしたが、選手の方々は元気いっぱい。各種目にさわやかな汗を流していました。

まちのうごき

人口	5,351人(△11)
男	2,511人(△13)
女	2,840人(2)
世帯数	1,728戸(1)

平成10年11月1日現在  
( )は対前月比





▶各部門で表彰を受けた代表の皆さん

# 第16回 東郷町産 業文化祭

10月31日(土)~11月1日(日)



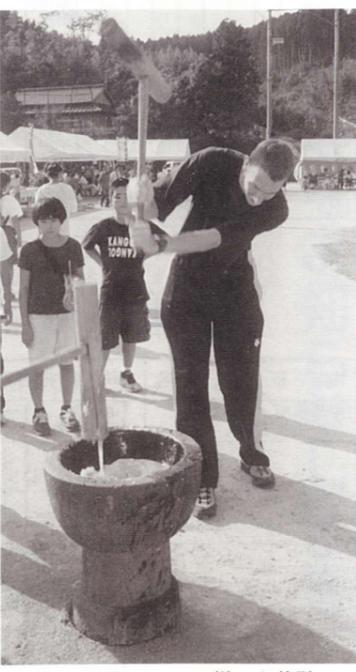
▲林業コーナーでは丸太切り競争でにぎわいました。



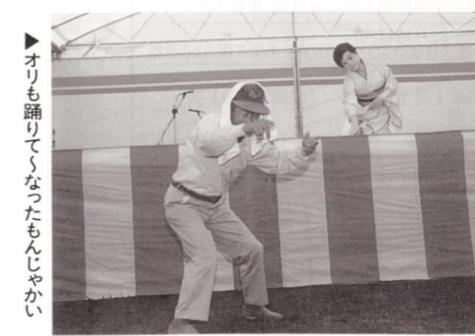
▲1等賞をゲット(越表の河野さん)



▲祭りには欠かせない冠太鼓



▲ヘイミッシュの餅つき体験



▶オリモ踊りてなつたもんじゃかい



▶グリーン博のキャンペーンレディー、グリーンハーツショー



▲山本秀子カラオケ教室発表会

十一月三日火曜日、シルバーセンターで産業文化祭の一環として囲碁大会が開催されました。白熱した大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 松掛芳郎(5段)
- 準優勝 竹下忠良(1級)
- 三位 橋口忠栄(初段)



## 産業文化祭 囲碁大会の結果



▲南里恵ショー



▲なかなかきまっています



▶インターネットはちびっ子にも大人気



▲農林産品の厳正な審査



▲女性ファンが増えたかも?

**短歌 尾鈴短歌会**

むかばきの新緑の森を巡りつつ  
森林浴に一時を過ごしめ 植野茂樹  
鏡り市に出でゆく仔牛見送りて  
仔を恋ふ親に声を掛けたり 橋口忠孝  
水無しの川とは名のみ火砕流  
ながれし広き河原の続く 佐藤キヌ子  
昼告ぐる牧水の歌のチャイム鳴る  
ひととき心の澄みゆく思ひす 寺原八重子  
雲多き夕べの空のひとところ  
移りゆく月の淡き光さす 小山貞代  
脱穀に忙しき日々傘寿なる  
吾も朝より藁を束ねる 黒木ヒサ  
夕べの風寒くなりしと思ひつつ  
迫の田二枚の稲架組み終へぬ 高野美智雄  
家族には話さず吾に耳打ちする  
孫の仕種に愛しさの増す 木村富貴子  
乱れ飛ぶ雲はやくして冠山の  
林を絶え間なく影上りゆく 木村秋男  
稲扱ぎの千歯取めの風習も  
機械化すすみ絶えて久しき 岩木幸美  
初孫の嫁ぐ日吾は七十二歳  
生まれ来る曾孫を思ふは楽し 佐藤鈴子  
首のなきお大師像にぬかずきて  
軀はひとり花を供えぬ 三浦園男  
古里に帰って二年目の牧水祭  
野点の席に濃茶頂く 岩木富子  
朝焼けの光りの中に包まれて  
朝のジョギング丘一つ越ゆ 戸敷裕子  
デイケアに預けし妻の振る舞ひに  
起伏のありて常に戸惑ふ 本田茂雄  
戦いの防塁は岬に朽ちはたて  
濠吹く風に汗の冷えゆく 東村吉市



▲黒木さんの司会で出演者もリラックス



▲婦人会バザー



▲すばらしいのどの披露



9月24日

桜公園を整備

鶴野内パット会(会員11名)のみなさんは、建設が進む「道の駅」河畔上流に、平成元年から桜の苗木を植栽し、公園づくりを行っています。

土が少なく石ころだらけという悪条件の中、思うように成長してくれない苗木でしたが、毎年4月から10月までの雑草がはびこる時期に会員総出で草刈りを定期的に行い、ようやく花を咲かせ始めたということです。

会員の皆さんは、多くの人々が訪れると期待される「道の駅」、「屋根付き運動広場」周辺を花いっぱい憩いの場にしようと今年も懸命に草刈りを行いました。会員の皆さんの願いが通じ、春にはたくさん桜の花が咲いてくれるといいですね。



10月20日

高齢者スポーツ大会

スポーツをととした健康の保持と高齢者相互の親睦と融和を目的とした平成10年度高齢者スポーツ大会が町総合グラウンドで開催されました。

この日は町内の幼稚園、保育園児120名を含む総勢350名が参加、紅白2団に分かれてグランドゴルフやボール運びリレーなど合計12種目に挑戦しました。

中でも園児とペアで挑む競技では力の加減の具合が難しく高齢者の方々も悪戦苦闘していたようですが、いざ勝負がかかってくると真剣そのもの、逆に園児がついていけない場面も見られました。

今にも雨の落ちそうな天候の中での大会でしたが、最後まで笑い声の絶えない楽しい1日になったようです。



10月31日

募金活動にご協力を

～寺迫日赤奉仕団～

寺迫の日赤奉仕団(寺迫代表者 橋口孝子さん)がこのほど、チャリティ「歌と踊りの夕べ」を企画開催し、そこで集まった募金(85,543円)を町日赤奉仕団(会長 小林理教)に寄付しました。

これまで、町の日赤活動に十分協力ができなかったことなどから3ヶ月前から地元(寺迫)でのチャリティーを企画立案、発表者たちも早くからリハーサルを行うなどして準備を進めてきました。

当日は180名(発表者含)が寺迫小学校講堂に集まり、3時間にわたって歌や踊りなどが披露されましたが、どの出し物も見応えのあるものばかりとあって、会場に訪れた観客も最後まで盛んな拍手を送っていました。



11月2日

牧水ヶ丘祭り

故郷を愛し続けた牧水の文学的業績とその遺徳を偲びながら牧水の顕彰に努めようと、坪谷小学校で第13回牧水ヶ丘祭りが開催されました。

第1部歌碑祭では、献酒・献花のあと児童代表の黒田一恵さんが歌碑に刻まれた牧水の歌を朗詠、そして全校生徒がそれに続き、最後に元PTA会長の岩下富男氏の朗詠で締めくくりました。

続いて第2部牧水ヶ丘祭りでは、全校生徒による「牧水の歌」の斉唱や同校で実施した短歌大会の入選者の作品発表とその選評(選者:渡辺邦彦氏)などが行われました。

また、式の途中では同祭りで牧水の歌の朗詠を努めてきた坪谷の三浦治郎吉さんに感謝状を贈呈し、長年の労をねぎらいました。



農業×夢＝認定農業者 12

海野光威さん

(寺迫)



○現況と今後の経営

現在は、みかん栽培を中心とする経営を行っています。寺迫の開き地帯に三ヘクタール程作付けし、妻と長男の三人で経営をしています。みかんは、露地栽培を中心に「牧水みかん」として市場へ出荷しています。また本年度は中山間地域新農業支援事業の導入によりハウス栽培(「アール」)に取り組むたいと考

ています。ハウス導入については、長期出荷体制をとることによる農繁期の労力分散を考え、安定した生産と品質の向上に努めたいと思います。

今後は、規模的には現状を維持し内容を充実させるため、品質の向上と機械化を図り省力化と品質向上による安定生産を目指す中で経営改善したいと考えています。品質については、側溝取付けによる排水対策と、マルチ栽培の取組みにより向上させたいと考えています。機械化については、特に病害虫の予防が人力を図りたいと日々考えています。どちらにしても、経費のかかる問題ですので、関係団体の支援・協力は難しいと考

えます。また、新技術の研修及び講習会等へも積極的に参加し、技術習得を図りたいと思います。これからは皆さんと交流を図りながら、自分の経営がより良いものになるよう、又息子に立派な農業基盤が継承できるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

東郷町の寺迫・庭田は、県内でも有数のみかん産地であった

農業経営改善支援センター 専任職員の声

のは、過去の影として過ぎ去ろうとしているが、その中でみかんに情熱を持った篤農家は、今自分の生産するみかんに自信を持ち、専業農家として活躍している。その中の一人、海野光威さんは三ヘクタールのみかん経営で、また、一〇年度に一〇アールのハウスみかんに取組み基盤強化を図っている生産者である。脱サラして二十六歳から父と複合経営(みかん・ブローラー・養豚)に取組み、親の経営技術を学び、その父も光威さんが三十七歳の時に亡くなり、その後一手で海野家の生計を担って、今日に至っている。現在仲間十八人で「牧水みかん」として市場出荷し高い評価を受けている。親から伝授した技術、自分で研鑽・開拓した技術、知恵を奥さんと論議し、より品質向上を図り、常に目標を高い所におき、後継者(他産業勤務)に引継ぐのを夢見て、改善に力を注いでいる。自分の経営に信念を持ち生産することが、海野家の一家の幸を築いている。太平洋の新鮮なオゾンをいっぱい含んだ風が、寺迫の「牧水みかん」を育てている。光威さんの名言「後継者がいるから自分も頑張る」。

畜産だより

11月期子牛郡共進会が開催されました。本町から、7頭出品しています。成績については次のとおりです。

東白杵郡共進会

鶴野内 伊東健児

仲深 広島 力 式等賞

福瀬 関野安弘 式等賞

福瀬 関野安弘 式等賞

はるえの4号 参等賞

△去勢の部▽

福瀬 塩月治孝 優等賞2席

坪谷 寺原英男 式等賞

福瀬 関野安弘 式等賞

福瀬 関野安弘 式等賞

△雌の部▽

庭田 黒木藤雄 式等賞

ふじやす号 式等賞





# ちびっこギャラリー

☆☆ 鶴野内保育園 ☆☆☆



鶴野内 中山の  
池田沙也加さん (5歳)  
父：池田信幸さん  
母： 邦子さん  
○好きな食べ物は何ですか？  
シチュー  
○好きな遊びは何ですか？  
なわとび  
○大きくなったら何になりたいですか？  
お花屋さん



▲題「ほくのすきなえほんローゼーのおさんぽ」



▲題「いもほり」



福瀬 下村の  
新名龍太くん (6歳)  
父：新名直義さん  
母： 香さん  
○好きな食べ物は何ですか？  
カレーライス  
○好きな遊びは何ですか？  
砂遊び  
○大きくなったら何になりたいですか？  
戦車に乗る人

## 街の話題

### 宮崎県区長会連合会 研修大会

10月23日(金)、西都市の文化ホールで宮崎県自治会(区長会)連合会主催の研修大会が開催され、本町の区長さん全員が参加しました。開会行事のあと、本町出身の黒田西都市長さんが「最近の農林業の課題について」と題して講話を行い、その後事例発表として本町の区長会長の橋口清さんが区長会活動について、個々の事例をあげながら発表しました。その後も事例発表が行われましたが、区の活性化に取り組む区長さん方は、それぞれの事例発表に熱心に耳を傾けていました。



## 駐在所だより

### ☆平成十年の回顧

・事件関係  
平成十年も残すところ一カ月となり、早くも師走といわれる十二月を迎えました。  
今年十月十七日に台風十号が上陸したものの、速度も速く昨年の台風十九号のような大災害を引き起こすこともなく、東郷町民体育大会は中止されたものの、その他の行事は順調に実施され、比較的平穏な一年が過ぎようとしています。  
今年の東郷町内の交通事故を振り返ってみますと、事件関係では現在のところ特異重大事件等の発生はありませんが、東郷駐在所管内で二十一件、坪谷駐在所管内で四件(十一月十日現在)の盗難事件が発生しています。これら盗難事件の内容は、事務所荒しや出店荒しなど室内に侵入して金品を盗む事件が五件、車上狙い、自動販売機荒し、オートバイ盗などが二十件発生していて犯人が検挙された事件もありましたが、油断できない状況であり、被害防止のため鍵掛けの励行等をお願いします。  
・入郷地区の交通事故  
東郷町では八十九件発生(十月

町名	人身				物損
	発生	死者	重傷	軽傷	
東郷町	6	0	2	6	83
南郷村	1	0	1	0	18
西郷村	4	0	0	4	38
北郷村	1	0	0	1	19
諸塚村	1	0	0	1	43
椎葉村	1	0	0	1	53
合計	14	0	3	13	254

末現在)  
本年一月から十月末までの入郷地区の交通事故発生状況は別表のとおりで、東郷町では人身事故が六件、物損事故が八十三件発生しています。そのうち、東郷駐在所管内で六十八件、坪谷駐在所管内で二十一件の事故が発生しており今年死亡事故の発生こそありませんが、重体や重傷事故を含んだ人身事故が六件発生しています。一ヶ月平均の事故発生件数は約九件となっており、入郷地区では断然トップの状況が続いています。十二月を迎え、多忙で気分的にも落ちつかず、また一年のうちでも最も事件事故の多い時期を迎えますが、さらに安全運転に徹して交通事故防止に対するご協力をお願いします。

## 町史編纂室だより ⑩

町史編纂室では、印刷会社から送り返されてきた原稿の校正作業を行っています。校正作業は四回ほど実施する予定にしていますが、2月までこの作業が続くこととなります。  
現在は初校の段階で、文字等の校正のみですが、今後写真や図表等をどの場所にもどのよう大ききで挿入するかなども作業の一つとして出てくることとなります。  
さて、今回も町史編纂室の永井先生に、町の歴史について執筆いただいていますのでご紹介いたします。

### 「法令の周知と高札場」

古老が「正、五、九(しよ)く)の月には、旅行や結婚などの出入りはしないもの」といつているのをよく聞いたものであります。今でも地域や家によっては、この月には婚礼などの行事をさける傾向がある。この月になぜこのようなことが云われるようになったのであろうか。  
実は、江戸時代の各藩では、この月に巡見使が領内の村々を見まわり、法令を読み聞かせるこ

とになっていたのである。延岡藩の場合は次のようにみえる。

「諸事の法令(御法度書)は、三浦老岐守様の代から庄屋方へ渡し置かれて、正月、五月、九月の年三度、村中の者を庄屋所に集めて読み聞かせる(石見屋文書)とある。

一般的には、法令の周知方法としては、重要な法令は高札(大きな板に法令を簡条書きにしたもの)にして村の交通の要衝に「高札場」や「札の辻」を設けて掲示される。天保年間の東郷町では、山陰庄屋前と坪谷村、寺迫門にあった。それ以前には八重原村にもあったらしい。しかし、難しい法令の文字を読めない人も多かったため、高札だけで法令の趣旨を徹底するのは無理で、村人全員を庄屋方に集めて読み聞かせる方法がとられた。周知徹底の点から村人が、その座を欠けることは好ましくないので、見せんでした、聞きませんでしたということになるので、村人の移動に制限を加えることになった。また毎年、正月には、村の軒数、人口の増減をも調査されたので、不在は都合が悪かったのである。

## 介護保険制度解説 ⑤

介護保険給付額は要介護度に応じて決まります。  
・介護認定審査会において、介護が必要と判断された場合、どのくらいの介護を必要としているかという要介護度(6段階)の判定がされます。  
在宅サービスについては、要介護度区分ごとに給付額が決まり、施設サービスについては、利用する施設の種類の種類により給付額が決まります。

### ■1 要介護度区分と在宅サービスにおける1ヶ月当たりの給付額

要介護度区分	状態	給付額
要支援	要介護状態とは認められないが社会的支援を要する状態	6万円程度
要介護度1	生活の一部について部分的介護を要する状態	14~16万円程度
要介護度2	中等度の介護を要する状態	17~19万円程度
要介護度3	重度の介護を要する状態	21~27万円程度
要介護度4	最重度の介護を要する状態	23万円程度
要介護度5	過酷な介護を要する状態	23~29万円程度

### ■2 施設サービスにおける1ヶ月当たりの給付額

施設の種類	給付額
特別養護老人ホーム	29万円程度
老人保健施設	32万円程度
療養型病床群等	43万円程度

※上記の給付額は、平成7年度における額です。最終的な給付額が決定するのは、介護保険制度施行直前の予定です。

## 表紙「牧水のうたの解説」

この歌は、十一月の町報「とうごう」で紹介した牧水公園のうたの小径に建立されている歌碑の中の一首です。  
大正七年秋、雑誌で画家三上知治の「利根川の奥へ」というスケッチに心を動かされた牧水は、病気で医者から無理や飲酒を止められていたにもかかわらず、十一月に利根川上流地方への旅に出ました。伊香保(群馬県)湯原(水上温泉)湯檜曾、谷川温泉へと旅をしています。この時に詠んだ歌で第十三歌集「くろ土」に収められています。

歌集「くろ土」は大正七年から大正九年末までの約三年間の歌九百九十九首が収められ、大正十年に出版されています。  
この歌集は牧水の歌人としての活動の後期に出版され、後期の歌風の完成期をもたらした作品として高く評価されています。  
利根川上流へ旅した大正七年の時の生活は、子供たちや牧水も病気になるという不運な状態でした。家計の方も、雑誌の選料や原稿料の収入が少なく家族五人の生活は窮乏状態にあったと記されています。

都甲欣一  
同公園のうたの小径に「わがゆくは山の窪なるひとつ路冬日氷りて光りたる路」の歌碑があります。この歌と同歌集「くろ土」に収められています。



# お知らせ インフォメーション

**第三セクター(株) 東郷町ふるさと公社 正社員募集**

▽資格 東郷町出身で短大・大卒の24歳位までの女子。要普通免許、ワープロ・パソコン経験者  
▽勤務地 東郷町鶴野内道の駅「とうごう」物産センター  
▽勤務 平成11年4月より  
▽仕事内容 一般事務、仕入業務、販売業務  
▽給与 当社規定による  
▽待遇 社会保険完備、退職金制度、通勤手当有り

▽応募方法 平成10年12月30日までに履歴書(写真貼付)を郵送下さい。追って面接日時等連絡いたします。  
▽問い合わせ 7883-0211

東郷町大字坪谷1267  
(株) 東郷町ふるさと公社 担当: 笠瀬(うけせ) (69-7720)

## 『能楽座』公演

町では文化振興基金を活用して中央の優れた芸術・文化に親しむ機会を提供していますが、本年度は町民の皆さんを対象として、日本古来の芸術『能・狂言』の公演を左記により行います。

▽期日 平成10年12月15日(火)  
開場 午後6時30分  
開演 午後7時

▽会場 東郷町総合文化センター  
▽主催 東郷町  
▽入場料 全席指定  
・大人 (2,000円)  
・中・高校生 (1,000円)  
・小学生 (500円)

※入場整理券は教育委員会及び町内各商店で販売しています。詳しくは教育委員会生涯教育係までお問い合わせ下さい。(69-3909)

## 第24回日向地区親善少年剣道大会

▽日時 平成10年12月13日(日)  
受付 午前8時 開会 午前9時  
会場 東郷町中央公民館体育館

## 平成10年工業統計等調査

12月31日現在で、次の統計調査が同時に行われます。  
▼平成10年工業統計調査—製造

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。

発売期間 12月1日(火)~12月25日(金)

発売総額2,220億円・74ユニットの場合

1等	6,000万円	222本
2等	4,500万円	444本
3等	1,000万円	2,220本
4等	100万円	22,200本
5等	1万円	222,000本
6等	300円	740,000本
大みそか賞	5万円	44,400本

抽せん日: 12月31日(木)

年末ジャンボ宝くじは通産省指定の当選確率でもお求めいただけます。どうぞご利用下さい。

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。

大みそか賞 5万円×444,000本  
1等6,000万円×222本/前後賞各4,500万円

宝くじセンター tel. 03-3596-3771

事業所の実態を調査。  
▼平成10年石油等消費構造統計調査—従業者30人以上の製造事業所の石油等の消費実態を調査。  
本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、統計法に基づき秘密は厳守されますので、調査票には正確なご記入をお願いします。

## 「世界人権宣言五十年・人権擁護委員制度五十年記念月間」

本年は、「世界人権宣言」が採択されてから五十年間という意義深い年に当たります。また、我が国の人権擁護委員制度も創設五十年を迎えます。そこで、法務省及び全国人権擁護委員連合会は、本年十二月を、これまでの人権週間の取組に替えて、「世界人権宣言五十年・人権擁護委員制度五十年記念月間」としました。

人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、そのほか家庭内、借地、借家、登記、金銭貸借など、さまざまな問題でお困りの方は、お近くの人権相談所でご相談ください。人権相談は無料で秘密は固く守られますので、安心して気楽にお出かけください。

▽人権相談所 延岡市大貫町一丁目二九一五番地  
宮崎地方法務局延岡支局

TEL 0982-3312179  
▽本町の人権擁護委員  
・黒木睦實(寺迫)  
・伊東征男(鶴野内)  
・海野俊男(越表)

## 行政相談・心配事相談

▽日時 12月15日(火) 10時~15時  
▽場所 林業研修館

## 今月の納税 固定資産税 三期 国民健康保険税 八期

納期は十二月二十五日まで

忌明けとして、次の方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

「11月6日までに受付した分」

- ◎福瀬の矢野博さんから(房子さん・77歳逝去)
- ◎鶴野内の寺原徳子さんから(雅論さん・95歳逝去)
- ◎鶴野内の福谷澄子さんから(エンさん・97歳逝去)
- ◎鶴野内の黒木ミエ子さんから(學さん・73歳逝去)
- ◎下渡川の山床キミエさんから(義正さん・69歳逝去)
- ◎八重原の青柳勝美さんから(宗一さん・91歳逝去)
- ◎鶴野内の塗木正子さんから

## 一般寄付

(豊さん・88歳逝去)  
◎寺迫の筒井研一さんから(塩海さん・80歳逝去)

寺迫の庭田青年会、養鶏振興会青年部の方々から産業文化祭の益金の一部を社会福祉に役立てて下さいと社会福祉協議会へ善意が寄せられました。

## 戸籍だよ

(十月届出分)  
結婚 お幸せに

氏名	住所
那須健司	坪谷
矢口小津江	北郷村
緒方保之	山口県
松原悦子	羽坂
小田貴広	小野田
河野英	椎葉村
岩田文雄	福岡県
今橋久江	福岡県

## 死亡

ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
寺原雅論	95歳	鶴野内
黒木學	73歳	鶴野内
山床義正	69歳	下渡川
青柳宗一	91歳	小野田
福谷エン	97歳	鶴野内
高木稔	68歳	小野田
筒井塩海	80歳	寺迫
塗木豊	88歳	鶴野内